

2025 年度伊豆急ケーブルネットワーク番組審議会 議事録

1. 開催日時・場所

- 日時:2026 年 3 月 23 日(月)
- 場所:伊豆急ケーブルネットワーク 会議室

2. 出席者

- 審議委員
 - 富岡 篤美 氏(審議会会長)
 - 杉山 修 氏(審議会副会長)
 - 石渡 久照 氏
 - 市川 正樹 氏
 - 浅見 和明 氏
 - (欠席:平田 小百合 氏、岩上 由美子 氏)
- 事務局 (IKC)
 - 三井 大峰(代表取締役社長)
 - 関本 誠男(地域連携グループ グループ長)
 - 橋辺 淳(地域連携グループ 副グループ長)
 - 石井 美由紀(地域連携グループ 課長補佐)
 - 川崎 蒼馬(地域連携グループ)
 - 大川 裕(地域連携グループ 課長補佐/司会)
 - (欠席:松岡 ひかる 地域連携グループ)

3.概要

2025 年度伊豆急ケーブルネットワーク番組審議会は、委員 7 名中 5 名が出席し、規定に基づき成立・開催された。本審議会は、同社が注力するコミュニティチャンネルの番組品質向上を目的に実施された。

会議では、前年度審議番組への改善フィードバック状況が報告された後、今年度の対象番組である「第 79 回 按針祭 海の花火大会」および「伊東市長選挙 開票速報」の 2 番組について審議が行われた。各委員からは、臨場感を伝えるカメラワークやテロップの工夫、コンプライアンスへの配慮など、今後の番組制作に向けた建設的な意見や提言が多数寄せられた。最後に、地域連携の強化を含む 2026 年度の事業方針が共有され、閉会した。

4.会議の内容

本会議では、以下の議題について意見交換を行った。

議題 1: 前年度審議番組についての振り返り

議題 2: 対象番組についての審議

議題 3: その他(コミュニティチャンネル全般について)

議題 1: 前年度審議番組についての振り返り

デスク担当の橋辺副グループ長より、前年度に審議された 2 番組(「IKC スポーツ番組」、
「YOUYOU 湯河原」)への意見と、それに対する現在の反映状況を報告した。

対象番組	委員からの主な意見	事務局の対応・反映状況
IKC スポーツ番組 (ママさんバレー、 少年野球等)	・メンバー表やスタメン表示がほしい。 ・優勝監督や選手のインタビューがほしい。	・個人情報保護(特に児童・生徒)に配慮しつつ、許可が得られた場合はテロップ表示やインタビュー公表を積極的に実施。
	・マルチアングル(複数カメラ)での収録をしてはどうか。	・昨年度は 1 カメラ(俯瞰)が中心だったが、今期は収録試合数を絞り、複数カメラによるスイッチング収録に挑戦する。
YOUYOU 湯河原	・「やっさまつり」の太鼓や山車の映像を途中で組み込み、飽きさせない工夫を。	・カメラを三脚から外し、山車のすぐそばで担いで撮影するなど、ライブ感のあるカメラワークを工夫。
	・チーム説明をテロップだけでなく音声でもほしい。	・司会進行に音声説明を取り入れ、改善を図った。

議題 2:【本題】対象番組についての審議

今年度の審議対象である以下の2番組について、概要説明とダイジェスト上映を行った後、各委員による審議が行われた。

【対象番組概要】

1.「第79回 按針祭 海の花火大会」

- 放送日時:2025年8月16日(土)15:00~17:00
- 放送 ch:いるかチャンネル 121ch / CVA122ch(YouTube ライブ同時配信:2.1万回再生)
- コンセプト:従来の花火映像に加え、カメラクルー2班が有料観覧席や事前準備、見物客へのインタビューを行い、多角的なライブ感を演出。

2.「IKC 報道特別番組 伊東市長選挙 開票速報」

- 放送日時:2025年12月14日(日)21:00~23:19
- 放送 ch:いるかチャンネル 121ch / CVA122ch(YouTube ライブ同時配信:6.6万回再生)
- コンセプト:激動の伊東市政において計3回行われた選挙の最終回。番組構成を根本から見直し、視聴者の関心が最も高い「リアルタイムの得票数積み上げ」に特化したシンプルな生中継。

1. 「第79回 按針祭 海の花火大会」に対する意見・感想

【構成・演出面の評価と改善】

- 冒頭に按針祭の解説があり、全体的に内容が分かりやすかった。
- テロップ表示が最小限に抑えられており、花火や祭りの内容に集中しやすかった。
- 花火大会を支える人たち(花火師、会場関係者、雨の中の露天商など)へのインタビューは、着眼点が良く楽しめた。
- ハワイアン、太鼓合戦、灯籠流しなどの周辺イベント映像は、風情やダイナミックさ、会場の雰囲気がよく伝わっていた。
- 駅や商店街を歩いて移動する映像は、本番前の緊張感や臨場感、ワクワク感が徐々に近づいてくる良い演出だった。
- 観光客(他県からの来場者)へのインタビューが多く、イベントの広域的な広がりが感じられた。
- タイムスケジュールがわかる「プログラム(パネル等)」の提示や、レポーターが「マップ」を持って動くことで、地域感や距離感を伝える工夫がほしい。
- 打ち上げ場所が複数(6~7か所)ある構造的な説明や、マップへの落とし込みがあると視聴者の参考になる。

- 主催者側のメッセージや、各団体の事前の意気込み、灯籠流しの歴史などを(ロールテロップ等で)丁寧に描くことで、他県に配信された際にもより深い観光 PR になる。

【映像・カメラワーク面の改善】

- 花火の映像はカメラがぶれたり動いたりせず、定点で美しく映すべきである。
- 1 台のカメラでは全体像を収めきれず画角の上下が欠けていたため、少し遠目の撮影場所を確保するなどして、全体を俯瞰する映像とズームを上手く組み合わせる工夫が必要。
- 花火を常に綺麗に見せつつ情報を伝えるため、インタビュー画面の配置(マルチ画面やスペースの工夫)を考慮してほしい。

【リポーター・インタビュー対応面の改善】

- リポーターは元気で良かったが、トーク中に「えーと」という言葉が多く気になった。
- カンペを見ながら話すのではなく、2 人の間で疑問を投げかけ合うような「掛け合い」をしたり、実際にイベントに参加したりするなど、もう少し自由度を持たせた方が自然で良さが出る。
- 撮影場所のテロップや、インタビュー相手(市職員、観光協会、業者など)の名前・所属テロップがなく立場が分かりづらい場面があったため、テロップを充実させてほしい。
- カメラやマイクを急に向けると相手が緊張して言葉に詰まる場面があったため、事前に軽く話を聞いてから本番の撮影に入るなどの工夫があると、インタビューがよりスムーズになる。

2. 「IKC 報道特別番組 伊東市長選挙 開票速報」に対する意見・感想

【番組の価値・評価】

- 開票所や開票作業の様子、票の積み上がり、「空箱を全員で見せ合う」シーンなど、普段見られないリアルな現場をじっくり確認でき、非常に臨場感があって勉強になった(地元ケーブルテレビならではの強みである)。
- 候補者の紹介が入っており、内容が分かりやすかった。
- テロップの文字が大きくて見やすかった。
- 選挙の重みやスタッフの苦労、これだけの人手とコストがかかっているという事実がリアルに伝わる番組だった。

【構成・演出面の改善】

- 2 時間という長尺の生中継において、定点カメラの映像が続くと画面が間延びして飽きてしまうため、ズームやパンを織り交ぜて画面に変化をつける工夫が必要。
- 人手などのリソース不足で解説者を置くのが難しくても、アナウンスで「これから何が起きるか」の進行説明や状況解説を入れると視聴者に親切である。
- 開票作業の進行と同時に、現在の「開票率」もリアルタイムで知りたかった。
- 市民にとって極めて真剣な場であるため、告示から投票までの「有権者の真剣な声」を所々に織り交ぜるなどの演出があると、より番組が引き締まる。

【コンプライアンス・撮影時の配慮】

- 開票所の定点中継はそのまま良いが、声は聞こえているため、選管の職員などの顔のアップ(個人の抜き出し)は不要ではないか。
- 選挙立会人の情報公開や映り込みなど、コンプライアンスや個人情報保護の観点から、事前に市や選挙管理委員会と「映して良い範囲・悪い範囲」を綿密に確認して放送すべきである。

議題 3: その他(コミュニティチャンネル全般について)

- **おくやみ情報について(浅見委員からの要望):**
 - 何日から何日までに届け出があった内容なのか、有効期間(対象期間)のテロップ表記があると分かりやすい。
 - **【事務局(関本)回答】**現状は1週間単位で切り替えて放送しているが、具体的な期間表記はしていない。今後の参考とする。
- **「いい伊豆みつけた」について(富岡会長からの意見・質問):**
 - アーカイブ(再放送)が多く感じる。次週の予告(次回はどの地域か)があると、視聴意欲が湧くので実施してほしい。
 - **【事務局(関本)回答】**年間52週のうち約半分が新作、半分がアーカイブという構成である。また、本番組は神奈川や埼玉などの独立U局や全国のケーブル局に配信しており、局によって放送周期(月1回、2週に1回など)が異なるため、番組内で「来週はこれ」という次回予告を固定しにくいという配信用番組ならではの事情がある。
 - **【反響の共有(関本)】**テレビ神奈川での放送枠が金曜日から土曜朝に変更された結果、視聴率が昨年度の倍に向上している。伊豆全体の人気の高まりも感じられる。

4. 2026年度における主な取り組み・閉会の挨拶

地域連携グループ長の関本より、2026年度の事業方針およびトピックスの発表をもって閉会の挨拶とした。

1. **コミュニティチャンネル(IKCチャンネル)の地域情報発信強化**
 - 自治体、警察、消防、教育機関との連携をさらに深化。
 - 日頃の備えを含めた防犯防災情報の迅速・適切な配信。
 - 「地域の宝」である子どもたちにスポットを当てた学校取材の充実に注力。
2. **選挙対応**
 - 2026年9月に予定されている「熱海市長選挙」において、地域メディアとして開票速報を中心とした情報発信を行う。
3. **IKC全体の事業推進**
 - 光サービス「IKC光」のインターネット新規獲得営業の継続推進。
 - 新規サービスとして「家電の販売」や「格安スマホ」へのチャレンジを展開し、地域のお客様との絆を強固にする。

本日委員よりいただいた貴重な提言・意見を精査し、今後の番組制作およびサービス改善へと反映させていくことを約束し、審議会を終了した。

以上